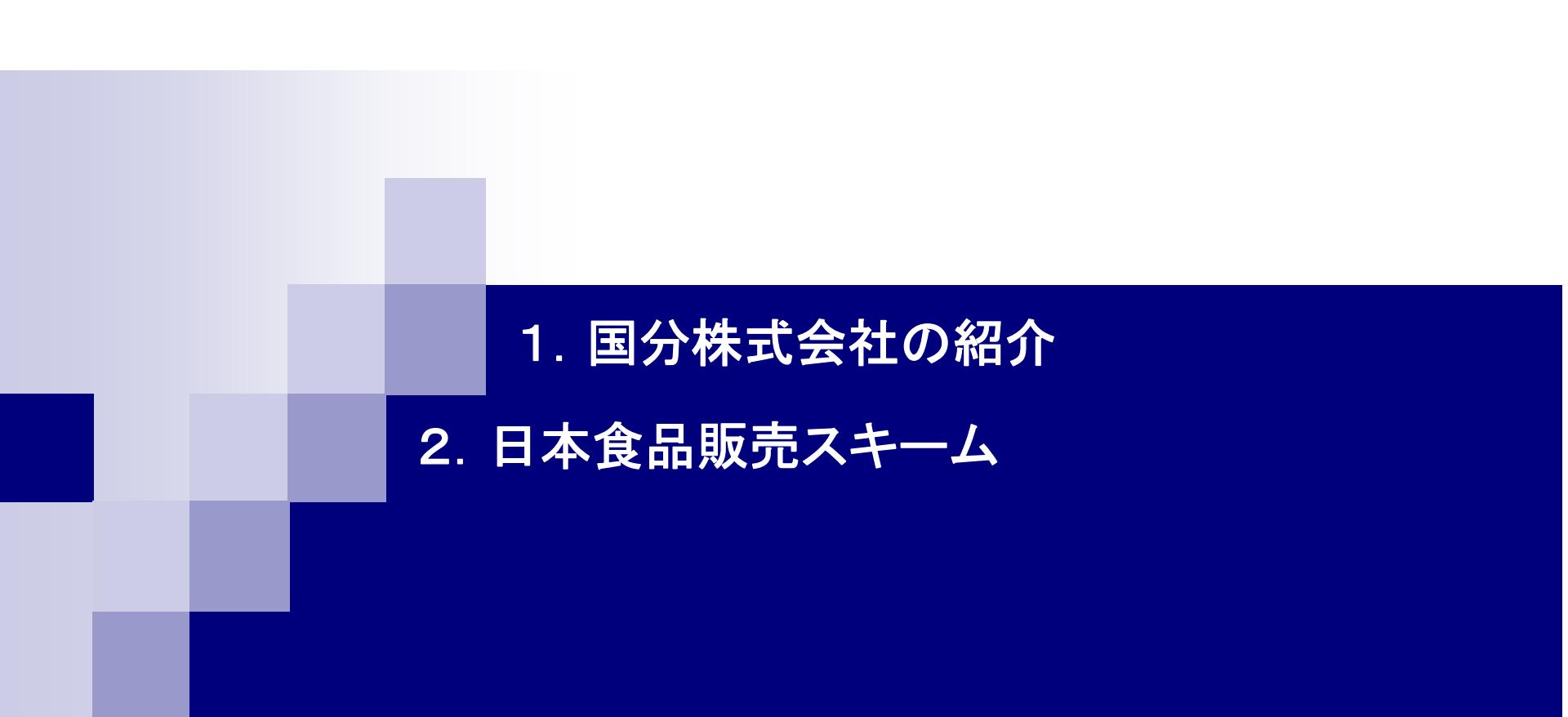


日本食輸入プラットフォーム会社 設立について

～日本の安全・安心を中国へ～

2014年6月20日





1. 国分株式会社の紹介

2. 日本食品販売スキーム

1. 国分株式会社の紹介



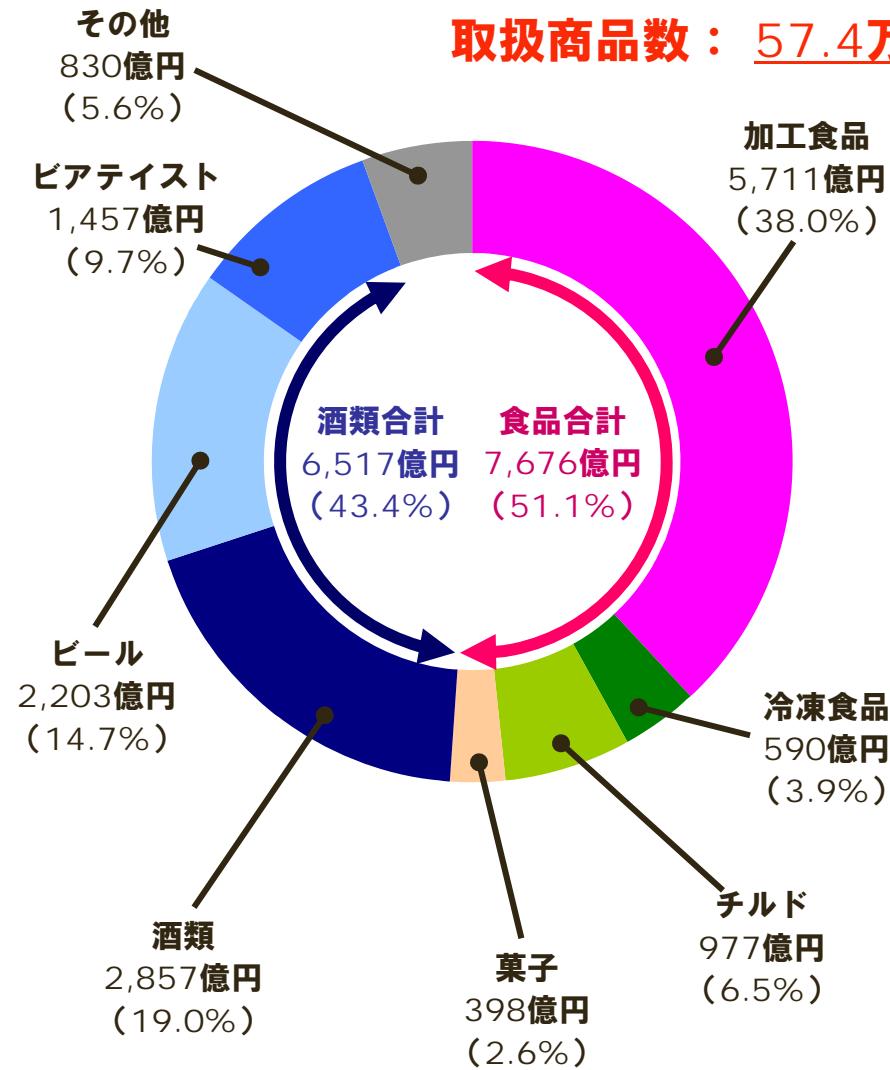
- 【創業】 正徳2年（1712年）
- 【資本金】 35億円
- 【本社】 東京都中央区日本橋1-1-1
- 【事業内容】 酒類・食品・関連消費財にわたる卸売業及びそれらに関する資材の販売業、貿易業、パン粉の製造業、貸室業
- 【社是・企業理念】 「信用」・「継続する心・革新する力」
- 【従業員数】 単体：1,429人、連結：4,674人
- 【業績】 売上高：1兆5,023億円 → 1日で約41億円の売上げ
(2012年連結)
経常利益： 106億円

1-2 国分グループの企業概要（商品別・業態別売上高）

カテゴリー別

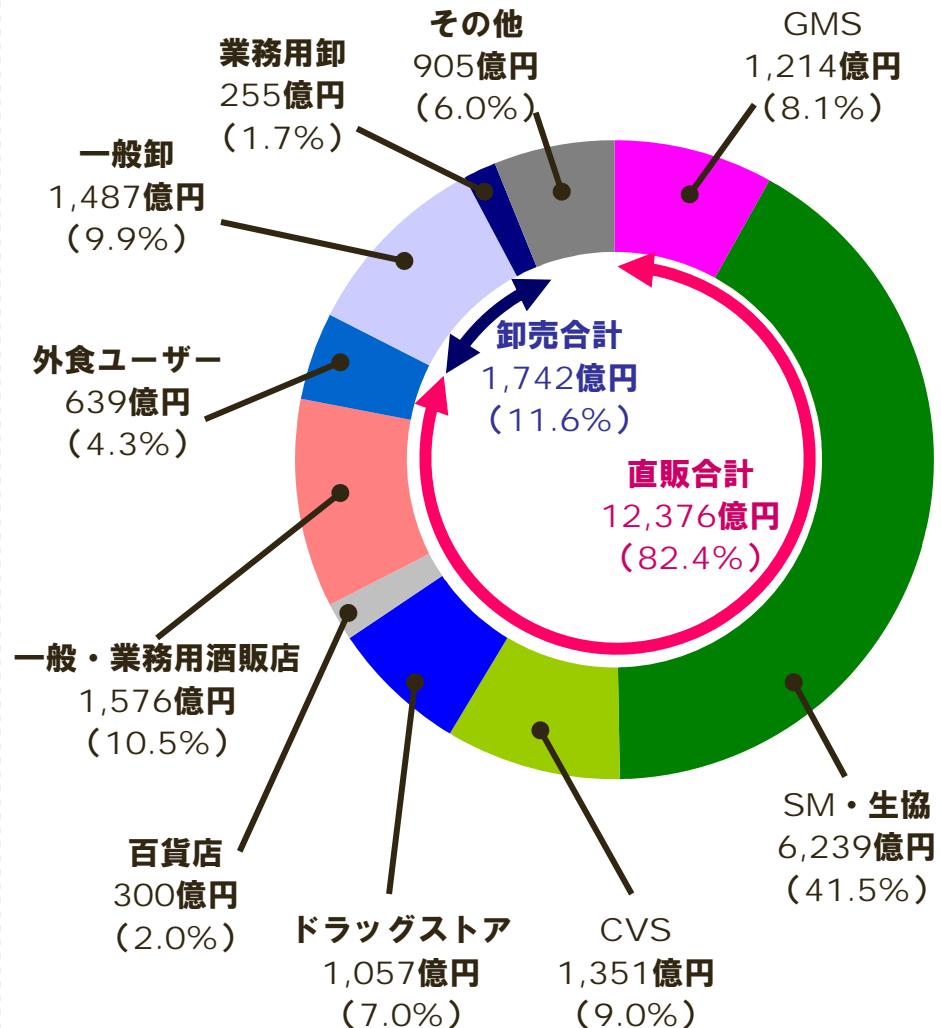
仕入先数： 10,100

取扱商品数： 57.4万

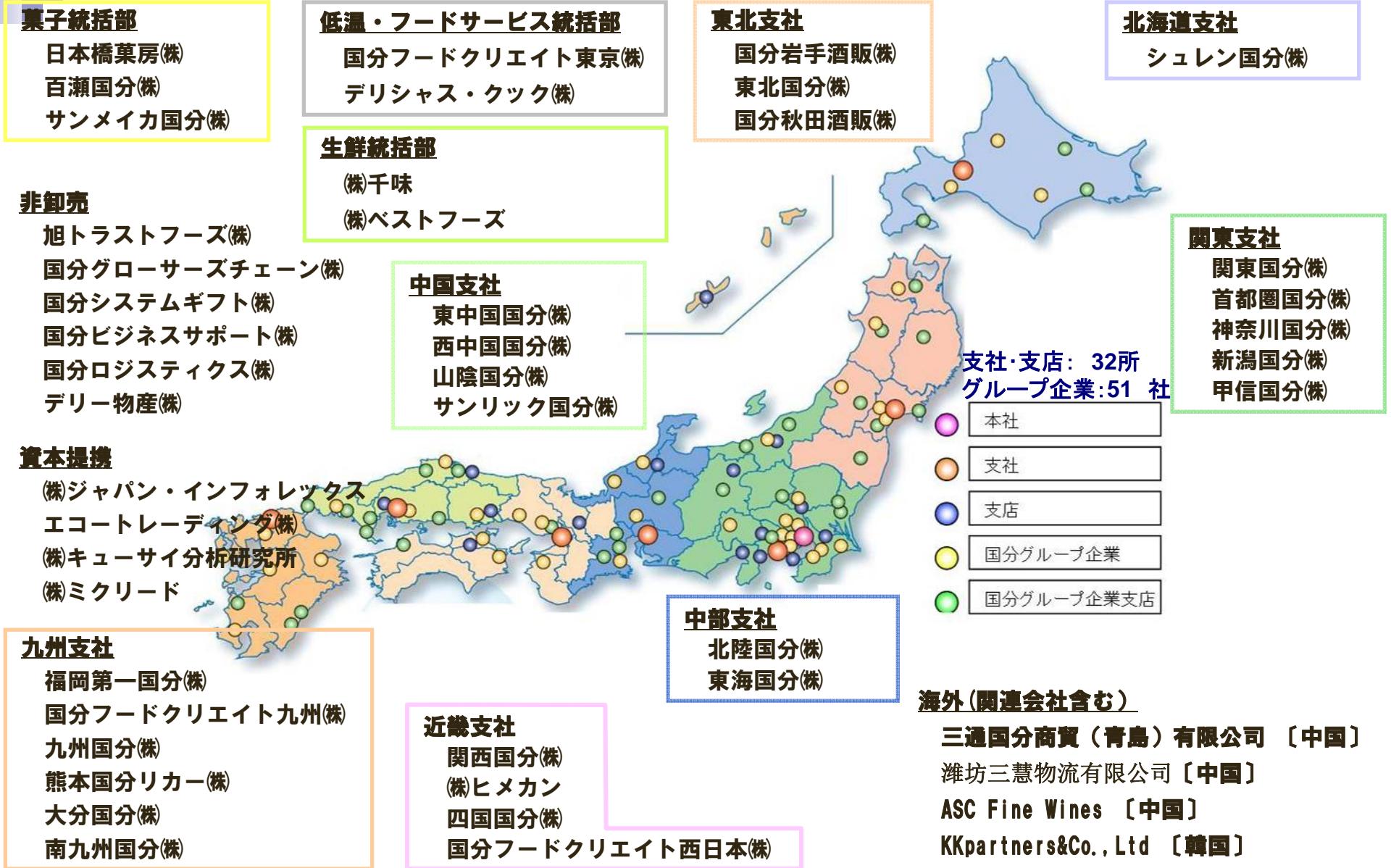


業態別

得意先数： 48,000口座



1-3 国分グループ企業一覧



■ 国分ロジスティクス(株)

食品等の物流業



■ デリシャス・クック(株)

弁当・惣菜等製造業



■ 旭トラストフーズ(株)

パン粉・クルトン等の製造



■ 国分グローサーズチェーン(株)

CVS（コミュニティストア）本部の主催



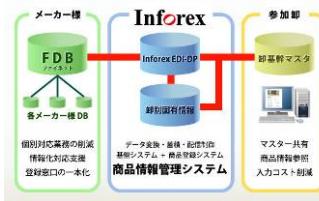
■ 日本橋菓房(株)

菓子・食料品の共同開発と販売を目的として設立。出資卸は13企業。



■ (株)ジャパン・インフォレックス

Web-EDIによる商品情報の一元管理



■ 国分ビジネスサポート(株)

「サプライ」「営業サポート」「セールスプロモーション」「管理サポート」の各事業部と「事務センター」を運営

■ 国分システムギフト(株)

カタログギフト運営企業



1-5 全国物流体制・拠点数

関東
甲信越
静岡

96拠点



「神奈川流通センター」

中部 18拠点



「横内物流センター」

中国 22拠点



「広島流通センター」



九州 23拠点



北海道 19拠点



東北 26拠点



近畿・四国 21拠点

業態・温度帯での内訳

	常温	低温	合計
汎用	115	49	164
専用	55	6	61
合計	170	55	225

(2013年6月現在)

2. 日本食輸入品販売スキーム

中国富裕層の日本食品への需要は依然として高く、美味しい安全・安心を求める人は今後更に増えると思われます。中国総人口13億人の内、富裕層1億人を中心とした販売ターゲットとして日本食品の販売網を構築するとともに中系小売業、日系小売業の要望にも応えます。

輸入品は一般的に①高額な商品、②継続的な販売ができない(チャンスロスが多い)、③多品種のアイテムが揃わないなどの理由で主要都市(上海、北京)においても大きな販売実績に至っていないのが現状です。こうした問題点を考慮し、輸入品共同仕入会社を設立します。また各省の特約店と販売契約を結び、「求められる商品」「ニーズ」「情報」を収集し、販売ネットワークを強化していきます。

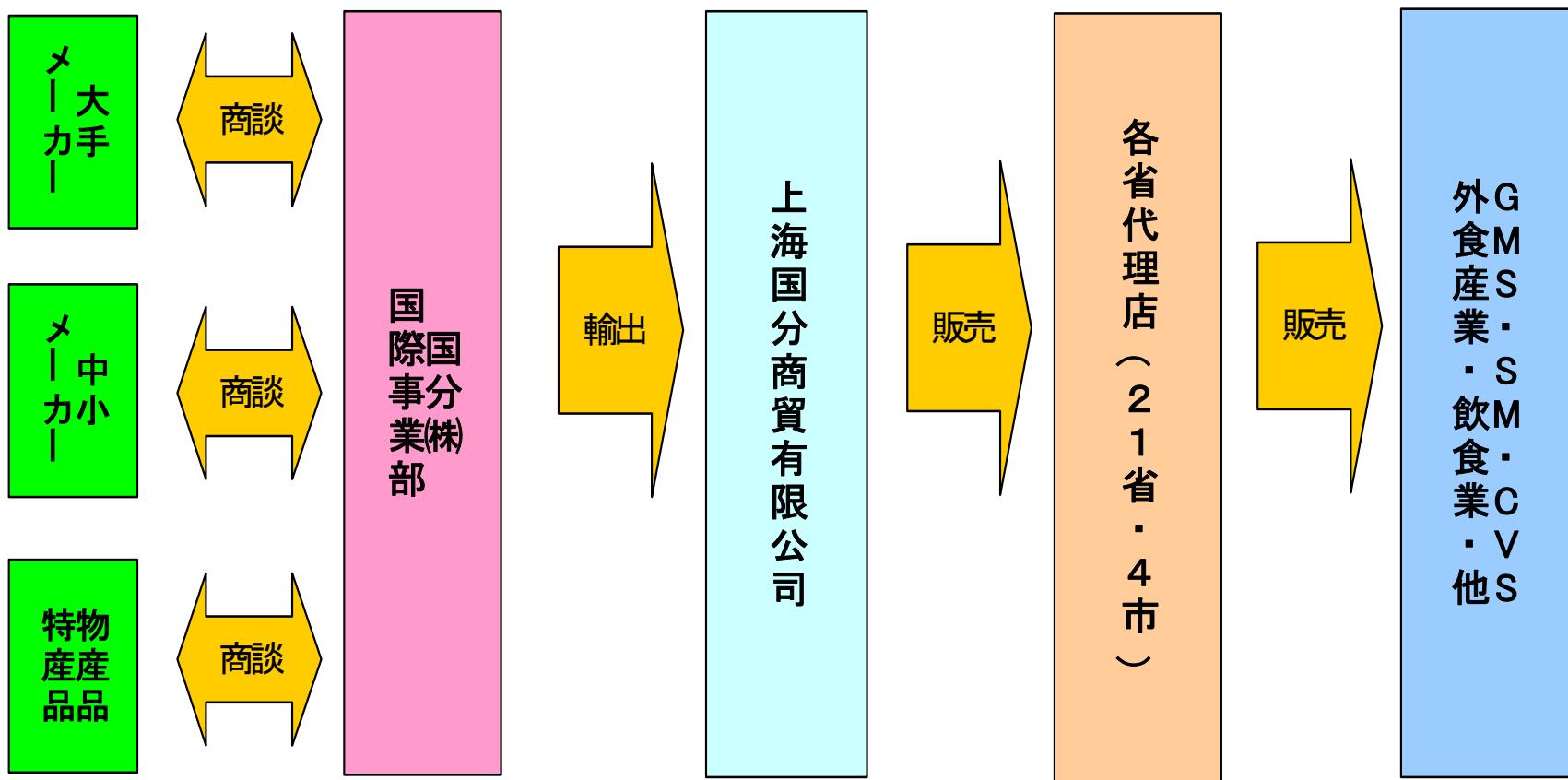
設立会社概要

企業名 : 上海国分商貿有限公司

資本金 : 1.2億円

設立場所:上海 設立時期:2014年5月~6月

2-2 日本食輸入ルートフロー



①全国販売ネットワーク構築

- ・21省4直轄市に代理店を設置による拡販が可能。
- ・代理店との3月毎の定例会議開催により全国の売れ筋情報、販売状況、販促企画などの情報共有が可能。

②通関業務の短縮とローコスト化（※次頁資料あり）

- ・代理店からの注文に対して60日前後に納品を予定。
- ・全国幹線物流における共同配送によるローコスト化を目指す。
(※三慧物流有限公司対応)

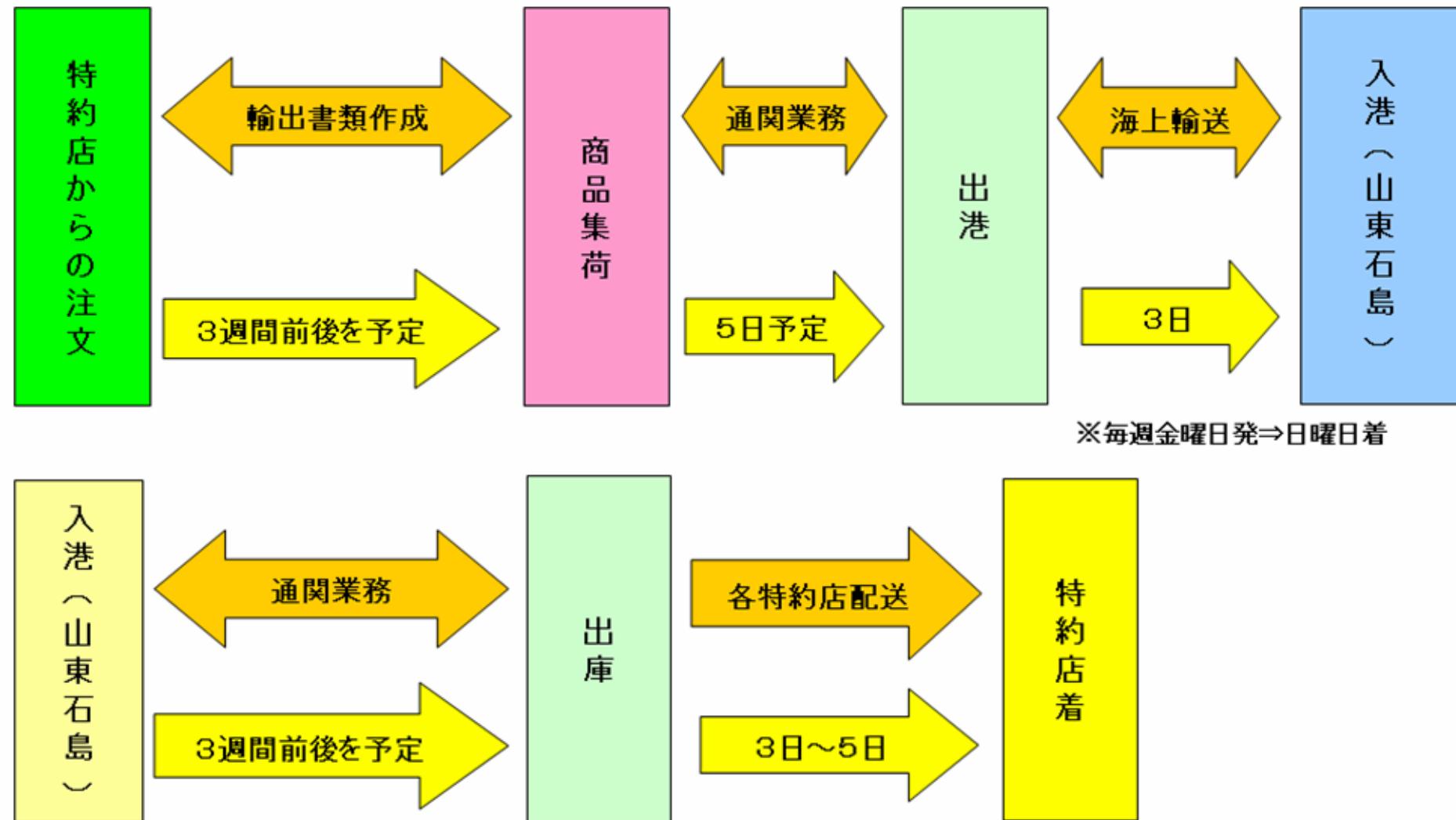
③共同仕入の実現

- ・各代理店の共同仕入によるロットの最適化(小ロット化)。
- ・スケールメリットを生かし輸入諸費用・通関費用コスト削減と日本での仕入価格交渉を有利に進める。

④商品の差別化

- ・取り扱いアイテム数、カテゴリーの充実。(国分の商品調達力を駆使し、日本全国のメーカーよりアイテム選定)。
- ・PB商品の開発。
- ・春節・中秋節等における日本ギフト商材の提案。
- ・日本各地の物産品の調達。(北海道産、九州産など)
- ・将来的な取り扱いカテゴリーとして(業務用、冷凍、チルド)

2-4 代理店までの納品リードタイム



※注文から納品まで60日前後を予定